

教育事業

令和3年度「第42期はなやまボランティアスクール」兼「自然体験活動指導者（NEAL）リーダー研修会」

1. 趣旨

全国28施設の国立青少年教育施設でボランティア活動が行える「法人ボランティア養成カリキュラム」において、ボランティア活動に必要な理論と技術についての実践的な研修を行い、ボランティア活動に積極的に取り組む意欲を高めます。また、希望者はさらにスキルアップの機会を持ち、楽しく安全に活動を指導するために自然体験活動指導者（NEAL※）リーダーの資格を取得できます。

2. 事業の概要

(1) 期日 令和3年6月19日（土）～6月20日（日）【1泊2日】

(2) 参加者

①参加対象 自然体験活動指導者（NEAL）に興味のある18歳以上の方（一般成人・学生）

②参加人数 12名（男3名 女9名）

③NEAL登録数 12名（同上）

【参加者の所属先】

・宮城学院女子大学 ・東北福祉大学 ・東北工業大学 ・盛岡大学短期大学部

3. 企画運営のポイント

①より実践的な実技と講義内容にすることで、自然体験活動の指導者の育成とともに、今後のボランティア活動に活かせるようなプログラムを意識した。

4. 日程

時間	6月19日（土）	6月20日（日）
6		起床：6:30
7		朝のつどい（つどいの広場）7:15～
8	開講式（大研修室）9:50～	朝食（食堂）7:40～
9	ガイダンスⅠ（大研修室）10:00～	自然体験活動の技術（砥沢）9:00～
10	対象者理解（大研修室）10:30～	
11		
12	昼食・休憩（食堂・宿泊室）12:00～	片付け 12:00～
13	自然体験活動の特質（工作館）13:00～	昼食・休憩（食堂）12:30～
14		ガイダンスⅡ（大研修室）13:20～
15		認定試験（大研修室）13:50～
16	自然体験活動の指導（第二野外炊飯場）16:00～	閉講式（大研修室）14:30～
17	夕食（17:30～）	
18	入浴（18:30～）	
19	情報交換会（ピロティ）19:30～	
20		
21	就寝準備（宿泊棟）	
22	消灯・就寝	

5. 主な活動内容



① 「対象者理解」



② 「自然体験活動の特質」



③ 「自然体験活動の指導」



④ 「自然体験活動の技術」

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：100% やや満足：0% やや不満：0% 不満：0%

(2) 参加者の声

- ・アイスブレイクは場を盛り上げるという考えでしたが、雰囲気や場面に応じて使い分けることが大切だと思いました。
- ・自然体験活動で得られることが沢山あり、有能感や意欲など様々感じさせるためには指導者の声掛け、サポートが重要だと思ったし、子供たちの成長に自分も携わっていきたく感じた。
- ・人前で発表する経験ができて良かったです。どのように説明すれば伝わりやすいか考えることができました。
- ・沢登りの活動1つのみで、こんなに人は協力しあって助け合うことができるのかと思えるような内容でした。
- ・スマホ等の文明の利器で遊ぶより、自然と触れ合う方が知らないうちにたくさんのことを吸収して楽しむことができるとわかった。

(3) 成果

- ・グループ活動を取り入れたことで、参加者同士がお互いに学びあうことができた。それによって理論と実践の学びが深まり、参加者の満足度が高まった。
- ・どの参加者も他者を尊重する姿勢で活動していた。そのため、参加者同士の交流が深まり、メンバーの結束力が高まった。

(4) 課題

- ・昨年度は新型コロナウイルスの影響により、この研修会を実施できなかったため、昨年度のボランティアスクール受講者にも参加の案内をしたが2名しか参加がなかった。昨年度の受講者については、ボランティア養成研修から時間が経ち意欲の低下が懸念される。

担当：事業推進係長 田口 康宏